

# どろんこまつり

早来町の農作物などを通じ、地域の交流・活性化を望み、「自然とのふれあい」をテーマに昭和59年から始まったまつりです。早来町、早来町農業協同組合、早来町馬鈴薯振興会の3者が協賛。

第4回からどろんこ棒幅跳びが企画され、泥まみれになりながらも会場に笑いを誘うほど盛り上がっていたようです。実りの秋を感じさせる特産品のじゃがいもを使った企画がありました。



クイズピラミッド  
平成2年広報はやきた10月号



じゃがいも掘り  
平成4年広報はやきた10月号



どろんこ棒幅跳び  
平成10年  
広報はやきた10月号

第4回（昭和62年）に  
この企画が誕生



どろんこターザン

平成13年広報はやきた10月号  
第13回（平成8年）にこの企画が誕生



カボチャボウリング

平成17年広報はやきた10月号



竹馬タービー

平成17年広報はやきた10月号

## 遠浅 グリーンフェスティバル

遠浅地区メインとし、31回開催しているまつり。現在は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催が中止になっていますが継続中です。前夜祭での豊年仮装盆踊りで色々なキャラクターに仮装する催しがありました。



豊年仮装盆踊り  
平成16年  
広報はやきた10月号

「かしわまつり」について実行委員長を務めていた小林正道さんに当時の話を聞きました！

最初の3年間は主に研修センターでまつりを開催していましたが、4回目以降は町民センターのスケートリンク内で開催しました。40歳のときに、第1号の観光協会の会長に就任して以来、自らが主体でまつりを取り計らっていたんです。

現在の「うまかまつり」よりは少し劣っていたが、人力ローラーが人気であり、他にもストローで飲むビールの早飲み競争や花火、各種ステージが盛り上がりました。

「かしわまつり」は、主に町民の参加者が多く、「メロンまつり」のように町外からの人を呼び寄せるようなことはしなかったです。開催前日に時間をかけ、商工会、農協、役場職員で協力しながら作り上げた手作りのまつりに達成感がありました。

